

平成 16 年 10 月 22 日

国際学術コミュニケーション委員会

SPARC/JAPAN プロジェクト活動報告

平成 16 年度 SPARC/JAPAN プロジェクトの総会以降の活動について、以下のとおり報告します。

1. プロジェクト会議及び説明会・セミナー等の開催状況

1) プロジェクト打ち合わせ

7 月 5 日 (月) (メールによる会議)

- ・ 今年度の活動内容の確認と作業分担について検討

8 月 27 日 (金) (国立情報学研究所)

- ・ 大学図書館におけるオープンアクセス運動の位置づけに関する意見交換
- ・ ワークショップの開催 (広島大学、国立情報学研究所との共催) 企画検討
- ・ 国内学協会の英文誌所蔵調査の実施検討

2) 国立情報学研究所との協議等

第一回運営委員会 (5 月 28 日 (金) / 国立情報学研究所)

- ・ 平成 16 年度事業計画、事業参画学協会の募集を決定

学術コミュニケーションに関する検討会議 (8 月 27 日 (金) / 国立情報学研究所)

- ・ 国際学術情報流通基盤整備事業との連携、ワークショップの開催等

第二回運営委員会 (9 月 15 日 (水) / 国立情報学研究所)

- ・ 平成 16 年度国際学術情報流通基盤整備事業参画提案の選考

学会誌に関わるワークショップ企画打合せ (9 月 15 日 (水) / 国立情報学研究所)

- ・ 学協会を中心としたワークショップの開催企画検討 (尾城、山下参加)

学会誌に関わるワークショップ企画打合せ (9 月 24 日 (金) / 国立情報学研究所)

- ・ ワークショップの企画内容の検討 (尾城参加)

3) 各種説明会及びセミナー等

国際学術情報流通基盤整備事業説明会 (7 月 7 日 (水) / 国立情報学研究所)

- ・ NII 主催、51 学会等参加、公募要領等を説明
- ・ プロジェクトメンバーの尾城千葉大学情報サービス課長が講演

大学における学術情報資源の整備～電子ジャーナル時代の学術コミュニケーションの変革～ (シンポジウム) (9 月 16 日 (木) / 京都大学附属図書館)

- ・ 京都大学附属図書館主催、参加者 185 名
- ・ プロジェクトメンバーの尾城千葉大学附属図書館情報サービス課長が講演

学会出版と学術コミュニケーション活動の変革 (シンポジウム) (10 月 15 日 (金) / 広島大学附属図書館)

- ・ 広島大学附属図書館、国立情報学研究所、国立大学図書館協会国際学術コミュニケーション委員会共催

・ プロジェクトメンバーの木村富山大学附属図書館情報サービス課長が講演
DPubS Conference (10 月 19～20 日 / 米国コーネル大学)

- ・ コーネル大学図書館主催
- ・ プロジェクトメンバーの木村富山大学附属図書館情報サービス課長が参加
どうする日本の学会誌！ - 緊急ワークショップ(仮)(10月19日(火) / 早稲田大学中央図書館)
- ・ 主催：日本動物学会、国立情報学研究所、後援：私立大学図書館協会、国立大学図書館協会ほか

2. 本プロジェクトの主な活動内容

1) Create Change (日本語訳版) の改訂作業

本年4月に米国 SPARC の Create Change が一部改訂されたことにより、2002年に作成した日本語訳版 Create Change の改訂作業を行った。

2) 米国 SPARC に新たに “ Open Access ” のパンフレットが作成されたことにより、このパンフレットの日本語訳版を作成し、国立大学図書館協会の HP に掲載した。

3) 説明会等の広報活動への参加及びシンポジウム等の開催企画

国立情報学研究所の活動と連携して、学会との意見交換、説明会及びシンポジウム、国際会議等で、学術コミュニケーションに関する説明・講演などの啓発・調査活動を行った。また一部その企画にも参加した。(上記開催状況参照)